

**平成 30 年度 市立吹田サッカースタジアム アドバイザー会議
結果報告（意見概要）**

- (1) 開催日時 平成 31 年 3 月 25 日（月）10：00～
- (2) 開催場所 シティプロモーション推進室横会議室
- (3) 参加者 **【委員】** A 委員（大学教授）・B 委員（税理士）
※C 委員は、都合により欠席
【事務局】 文化スポーツ推進室職員
- (4) 会議資料 ①市立吹田サッカースタジアム指定管理決算報告書（平成 29 年度）
②市立吹田サッカースタジアム指定管理者 自主事業一覧
③ガンバ大阪ホームゲーム（J リーグ等）入場者一覧
④スタジアム利用促進事業について
⑤LED 照明・防犯カメラの設置について
⑥主要地方道 茨木摂津線（万博外周道路）における歩道のカラー等舗装について
⑦指定管理者制度導入施設のモニタリングチェックシート
※②～⑦の資料については平成 30 年度の実績に基づいた資料

【委員からの意見概要】

事務局	資料①～⑥の説明及び解説
B 委員	貸借対照表中の貸付の 2 億 5 千万円は、選手獲得のための一時的なチームへの貸付ということで、貸借がすぐに解消されるなら問題ないが、4 億円の中の 2 億 5 千万円が一時的とはいえ動くことになるはどうかと思う。 選手獲得のためというなら、この 1 年だけというのではなく、毎年ということになるのではないのか。
B 委員	J1 の試合は帰りの混雑が印象に残っている。 素人が見る分には J3 とはいえかなりのレベルであり、入場者数から見るとゆったり観戦でき、プロの試合が間近で見られるということは凄く魅力的だが、いつ、どこでやっているのかがわからない。 ガンバ大阪ファンの方は別として、ほとんどの人が知らないと思うので一般市民への周知はもっと積極的にされる方が良い。 1,000 人の観客がせめて 5,000 人ぐらいになれば、地域密着ということになるのではないのか。
A 委員	ガンバが強くなること、それはスポーツ振興への貢献ではあるが、ガンバファンだけではないため、それだけではどうかと思う。 スタジアムのネーミングライツで得た対価は、市の施設で得た市民のお金であるため、吹

	<p>田市のスポーツ振興にも何らかの力を入れて欲しい。 ガンバファンではない市民にもメリットが無いといけない。 そこをどう担保するかが重要。</p>
A 委員	<p>地震や台風の被害について、色々と工夫されて建てられたスタジアムであり、安かろう悪かろうというものではないこともわかっているが、大きな災害で一定の被害が出ているだろうと思うが、そういう場合、経営にどう影響するのかと心配する。</p>
B 委員	<p>スタジアムから離れている人にとったら、子どもを連れて行くのに電車・モノレール代がけっこうかかるので、J3 はできるだけ低価格に抑えて欲しい。</p>
事務局	<p>資料⑦の説明及び解説</p>
A 委員	<p>現在のチェックシートは既存の施設用（指定管理料有り）になっているので、スタジアムからすると出来ていて当然の項目がほとんどである。 評価項目に「一般市民への貢献」という項目を追加すること、それを公表することで一定の効果があるのではないか。 現評価の公表をしていないのは、内容的なもの、指定管理料を払っていないことから考えると理解できる。</p>
A 委員	<p>利用料の低減についてだが、利用者がさほど伸びておらず、市外利用が増えて市内利用が減っている。 サッカー以外でも色々な利用ができることをもっと周知しなければならないが、それは市がやることではなく、収益をあげなくてはいけないガンバ大阪自身がかつとやるべき。</p>